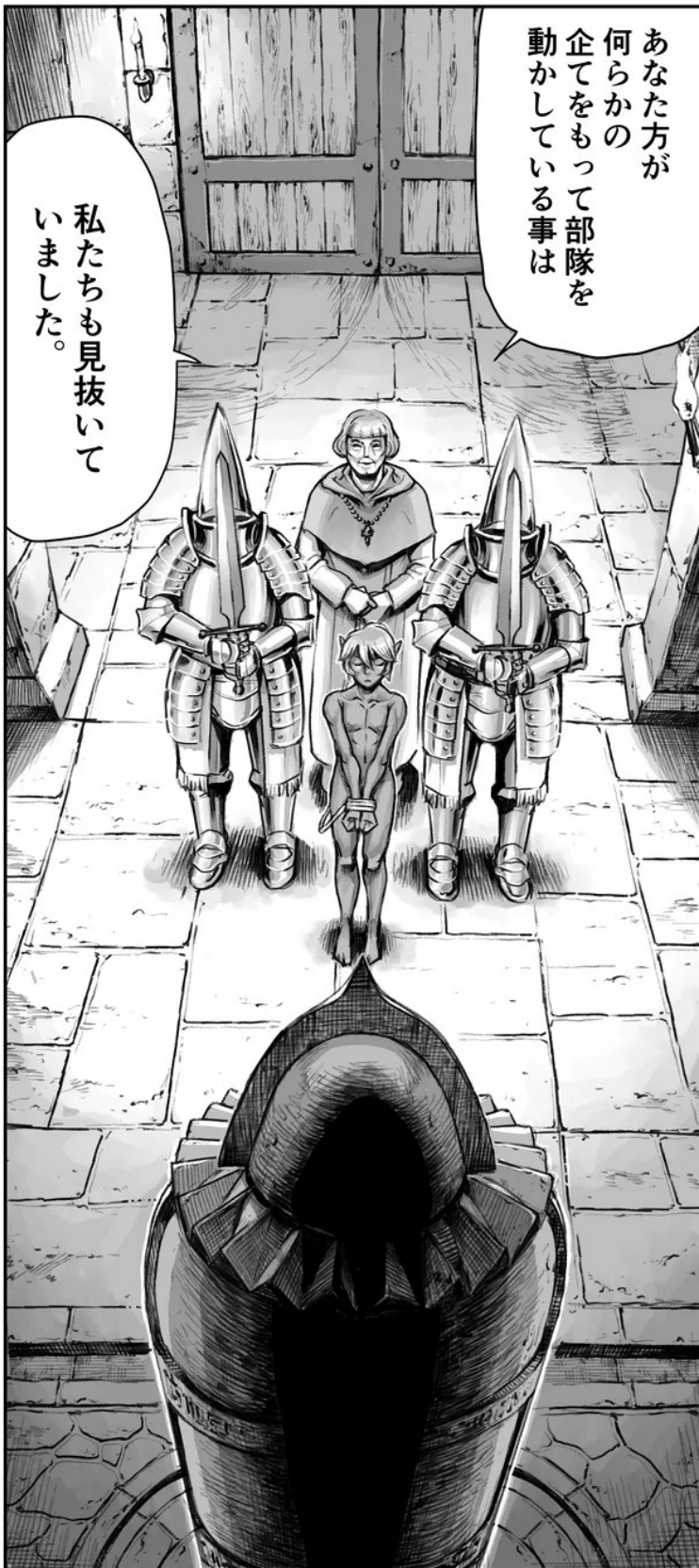
ヒッ
ヒッ
ヒッ…

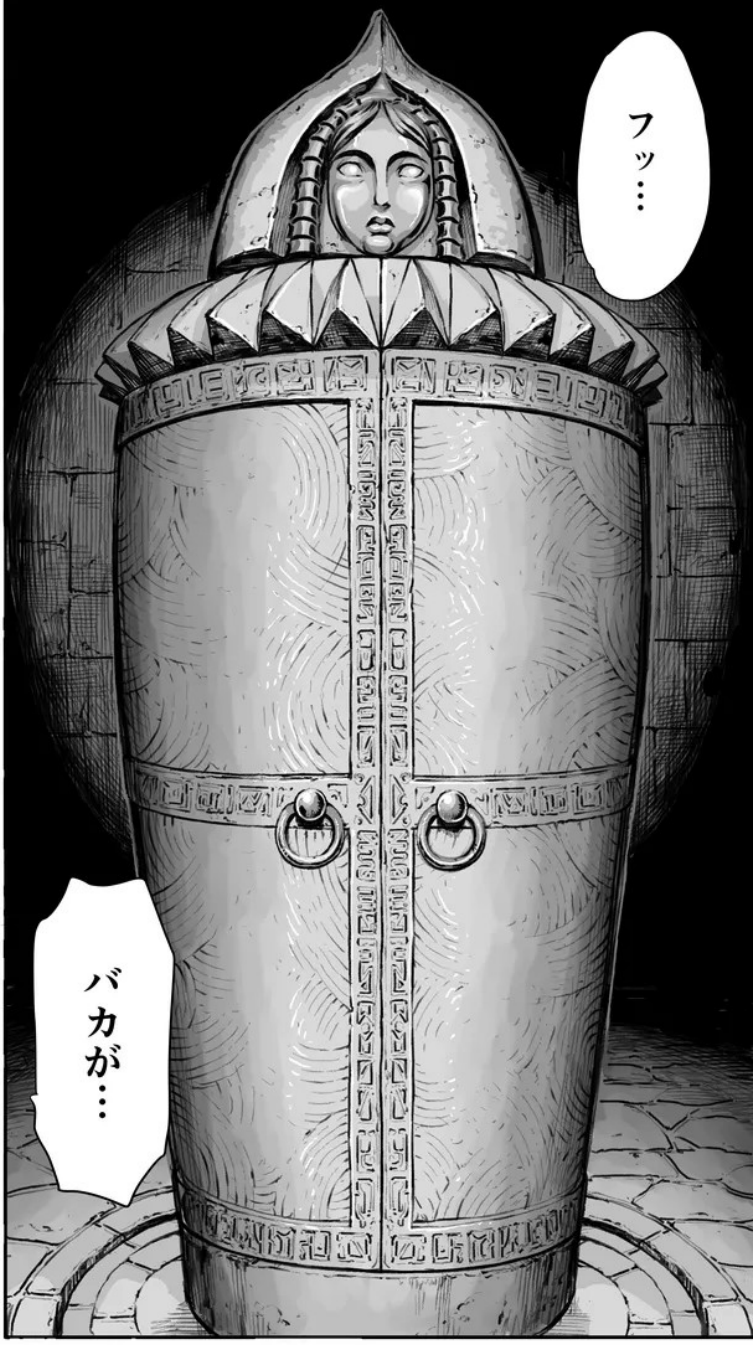
幾つか敵の死体もありますが…先遣隊はほぼ全滅、
どうやら奇襲を受けたもようです…
部隊長の遺体はあったか？

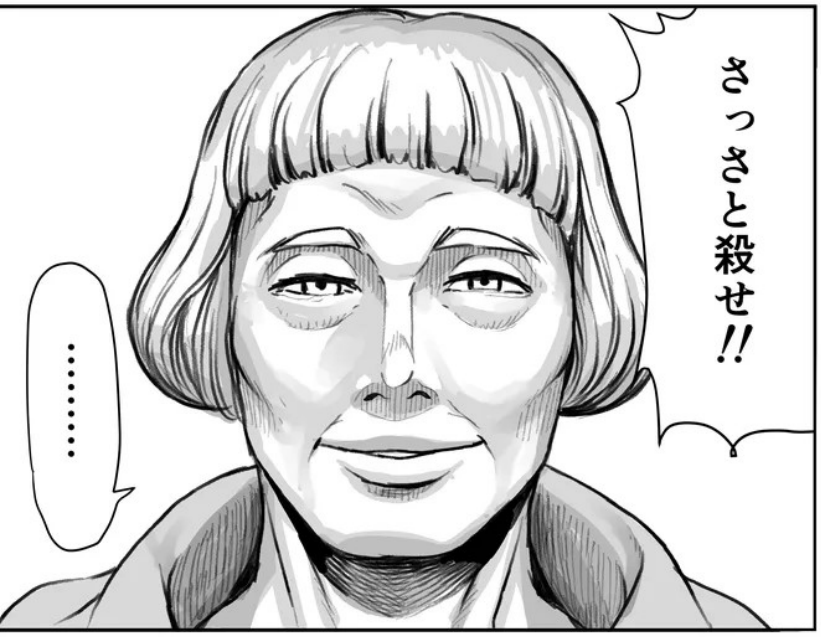
いえ…
痕跡から察するに
連れ去られた
可能性が高いです。
我々の総攻撃が
計画されている事は
敵も既に知っている。
作戦の情報を
聞き出す為に
生け取りに
されたのだろう…
…では
一刻も早く
救出を！
いや。
この作戦は全軍の
緻密な連携が必要なのだ…
限られた戦力を救出に
割くわけにはいかない。
息子が…俺の後に
部族を率いるに値する
者ならば、
必ずやこの状況を
乗り越えるだろう。


あなた方が
何らかの
企てをもって部隊を
動かしている事は
私たちも見抜いて
いました。

そこで、あなたには
今回の企てについて…
知っている全ての事を
喋って頂きます。

我ら部族に痛みや苦痛など無意味…
時間の無駄だ


フッ…
バカが…


さっさと殺せ!!
……

フフフッ…
ガコッ…

あなたは何か…
勘違いをされているようですね
ギィィィィッ
え…

邂逅

-KAI-

-KOU-

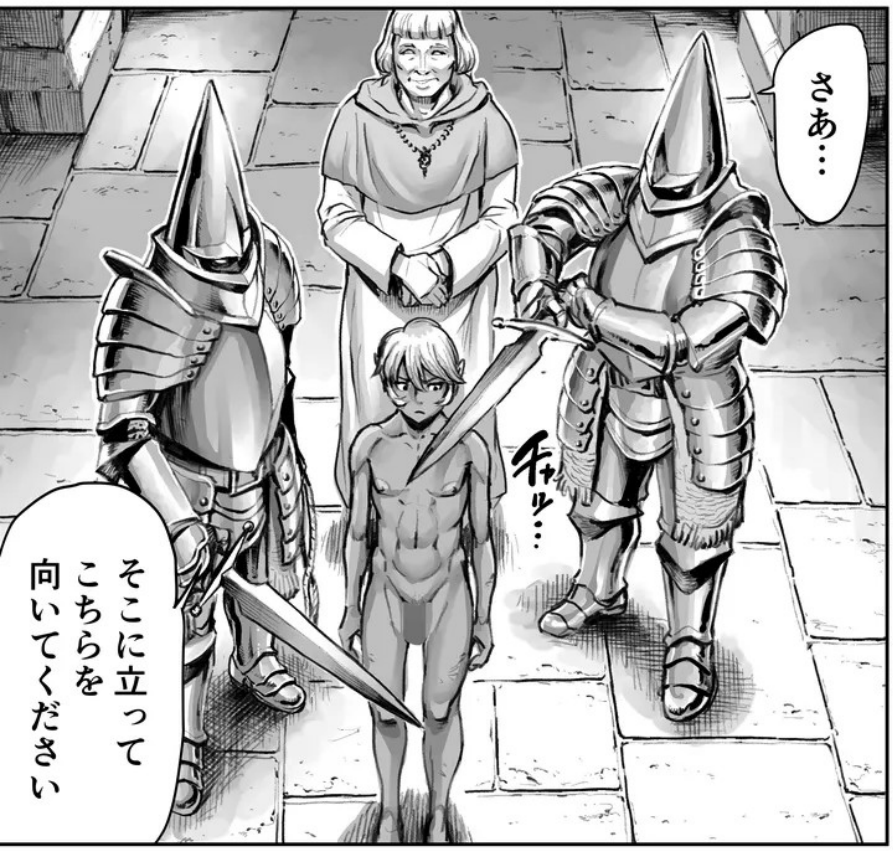
漫画　だぶるでっく

フフフ…
どうです、

美しい
でしょう？

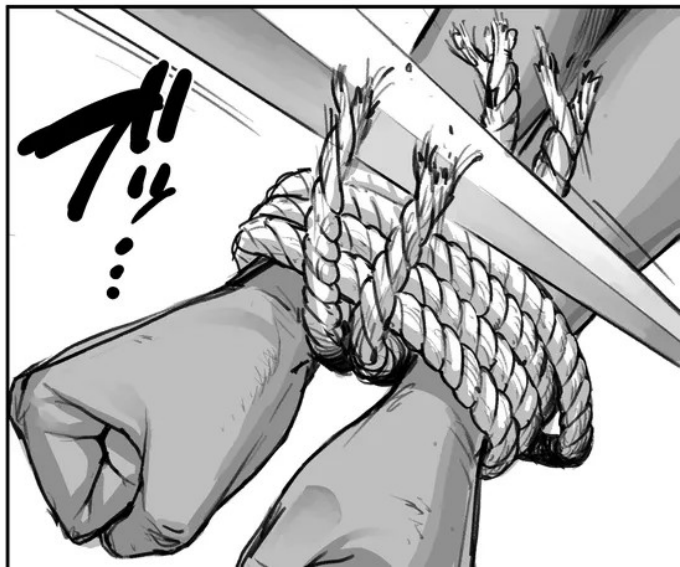
さまざまな
下等搾精液生物を
合成して作り上げた…

我が国が誇る
最高の尋問用具
です…。



さあ…

そこに立って
こちらを
向いてください



ガッ…

それでは…
存分にご堪能下さい…！
クソッ…
こいつら一体何考えてやがる？
ゴゴゴ…
なめやがって…
ゴゴゴ…
必ず抜け出して皆殺しにしてやる！
ゴゴゴ…

ガシャン…

…なんだ
けっこう手足の自由が利くじゃないか、これなら…
!?
ガッ
!…ック
グニュッ…
グルッ…
えっ…!?
な…何だ?
ビクッ…!
ザワッ…
グニュッ…
ザワッ…
ザワッ…
ザワッ…
ビクッ…!
グニュッ…
ザワッ…
うぅッ…
こいつらはッ…!?

んっ…
うっ…
くッ…！
ううっ…
くそっ…
いいかげんに…
!!

なっ…何だ？
か…体がっ
体が…
あついッ…!!

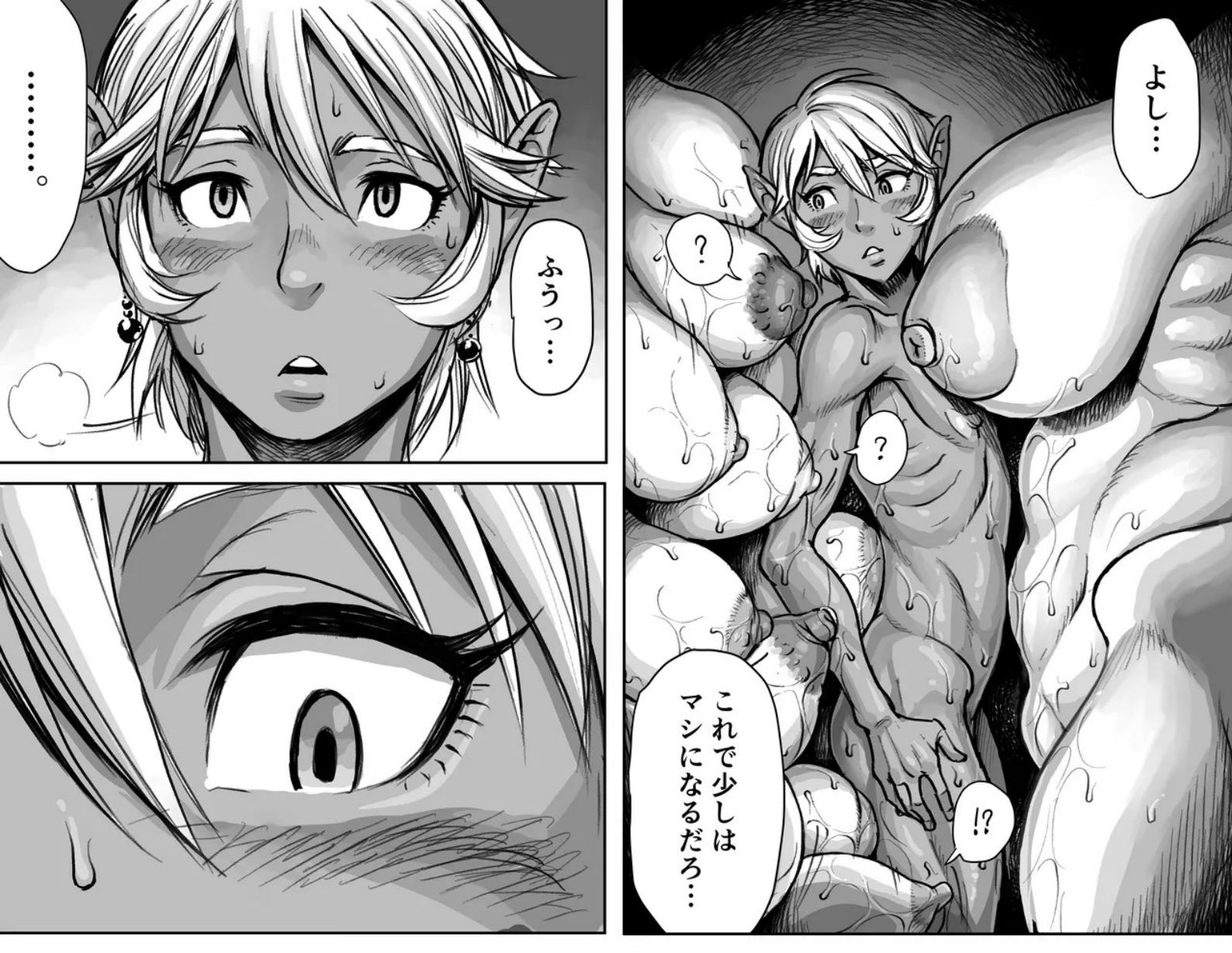
…!?

うッ…
うあッ…!?

あ…
はぁっ…
うッ…
うぁ…
はぁっ…
あっ…
ビクッ
ビクッ
ビクッ

んっ…
ズリュッ!
ズリッ
ズリッ
んうッ
ダッ…
ビクッ!
ムリュ…
ダメっ…!
ズリュッ…
ムリュ…
タラッ…
グリュッ…
ズリュッ…
ズリュッ…
でっ…
ビクッ!
グリュッ…
ムリュ…
ズリュッ…
出るッ…うっ!!
グリュッ!
ズリュッ!
コリュ…
くッ…うッ!
あ…
あぁっ

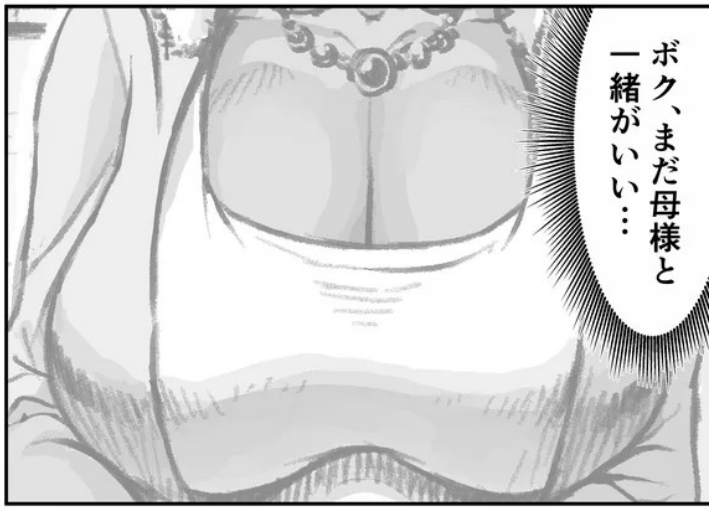
うッ!!
ドビュッ!!
ビルッ…
ドプッ…
ドビュッ!!
ビルッ…
くそっ…
ビュッ…
は――…
は――…
こんな…
ワケの
わからない
モノにっ…
ビルッ…
!?ッ…
ビクッ!
ビクッ…
ま…またッ…
何とか…
グイッ…
逃げないとっ…
くっ
グルッ…
グッグッグッ…
ふうっ
ううっ…
よしっ!
ズルッ
やったッ!!

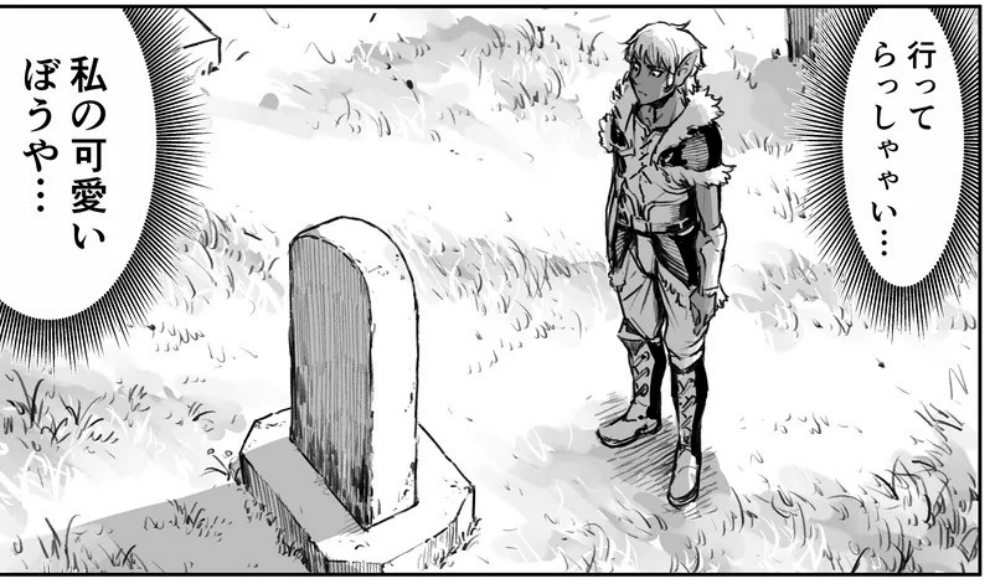

よし…
？
？
これで少しは
マシになるだろ…
!?
ふうっ…
……。

ドッ
タユン…

今日から…
一人前になるまでは
同じ戦士達だけで
暮らすのです…
あなたは私たち
部族を守る
戦士の子です…

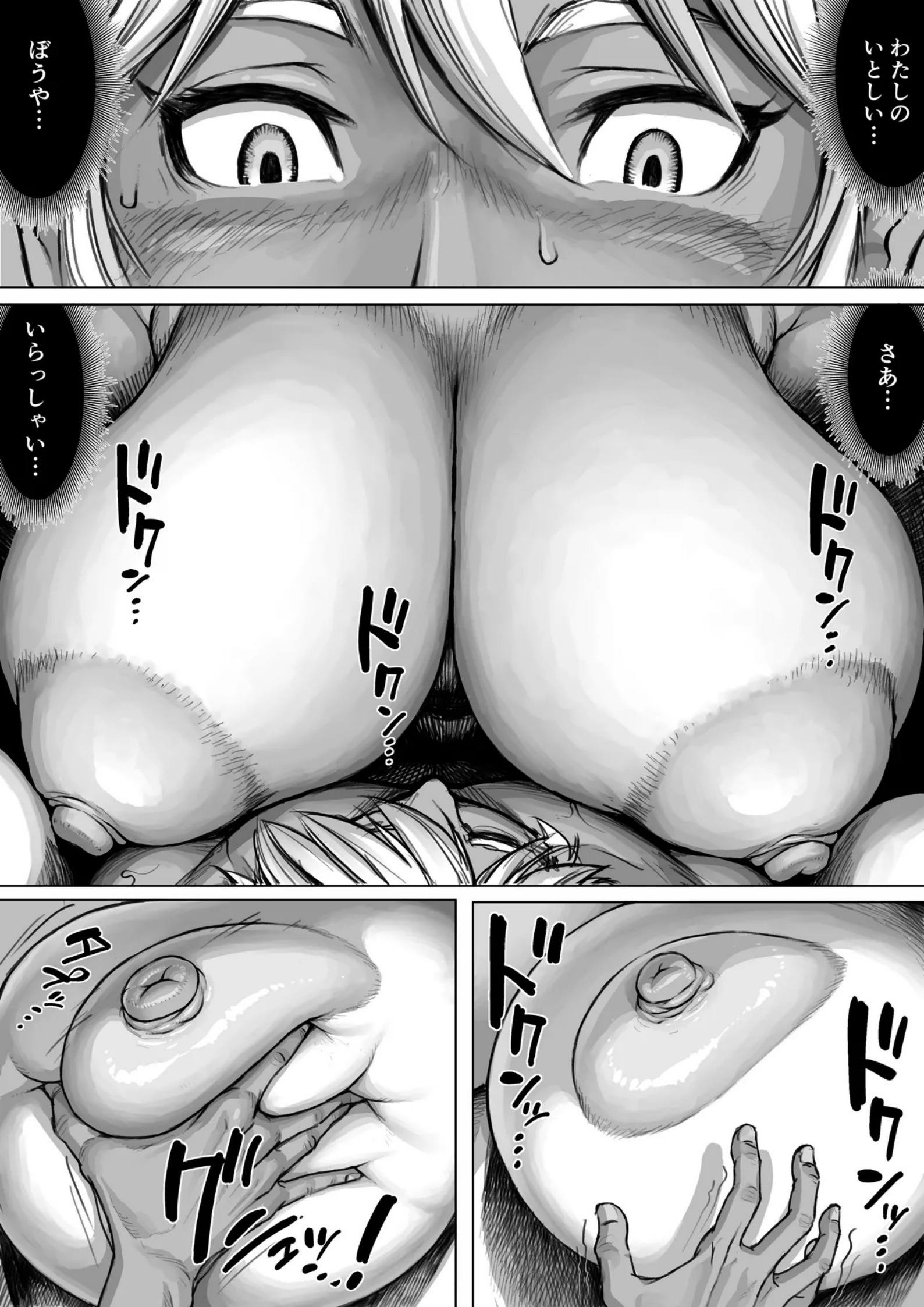
どうして母様と
別々にくらすの？
…どうして？


ボク、まだ母様と
一緒がいい…


行ってらっしゃい…
私の可愛いぼうや…

立派な戦士になって…
わたしの元に帰ってくるのですよ…

ぼうや…


わたしのいとしい…
ぼうや…
さあ…
いらっしゃい…
ドクン…
ドクン…
ドクン…
ドクンッ…
ドクンッ…
ムニュ…
グニュッ！

んっ…
ふうッ
んうッ！
はあっ
はぁ…
んっ！
うっ…
うぅッ
あっ…
あ…！

はぁっ
はっ…
あ…！
ビクッ！
あッ…
あッ…
ビクンッ！
おおおッ！
ズプ
ズプ
ズプ
!!
こ…これっ…
すごッ…！
ガクッ
グニュッ…
だめっ…
これだめぇッ…!!
ガクッ…
グニュッ…
モニュッ…
モニュッ…
モニュッ…

ああぁっ…
ビクッ…!
ビクッビクッ
もうっ…後戻りできないッ…
ダッ…ダメっ
腰ッ…うごい…ちゃうっ!!
うあぁぁッッ!!
ズンッ!
タプッ…!
ズンッ!
グチュッ!
ズッ!
グチュッ…
ズンッ!
ジュプッ!
ビクッ…!
タプッ…
ズンッ!
ズンッ!
ズンッ!
チュッ…
チュッ…
ズンッ
ズンッ
きもっ…
気持ぢいいっ!
ビクッ…
ズンッ
ビクッ…
ズンッ

ムクッ…
ムクッ
クリ
クリッ…
!?
ホッ
チュ
あぁっ…
何かッ…
吸いついてくるッ!!
ビクッ!
ギュウウッ!
ビクッ…!
チュポッ
チュプッ…
やっ…
ダメっ…
ジュポッ!
レロッ…
ジュルッ…
ジュポッ!
レロッ…
先っぽ…ペロペロ
ダメえぇぇッツ!!

はぁ…
はあっ
あ…
ああッ
あっ…
はあぁッッ!!

ドピュッ!
ビュルッ!
ガッ…!
ドピュッ!
ビュルッ!
はぁッ…
ドピュッ!
パンッ!
ゴクッ…
ゴキュッ!
チュパッ…
チュクッ…
ビュルルッ…
ビュッ!
はぁ…
はぁっ…
ピクッ!
ピクッ…
はぁ…
はー…
はぁ…
プクッ…
ズルッ…
パフッ…
ズルッ…
あ…
ズルッ…
ヌポンッ…
チュッ…
ズリュッ…
ああ…ッ!
ズリュッ…
レロォッ…
ヌルッ…

あぁッ！
うぁっ…
ビクッ！
ビクッ
ジュルルッ！
ああぁぁ～ッ!!
パロッ！
レロッ
ズルッ
はあっ…
レロッ！
パロッ
ビクッ！
うッ…
ああッ…!!
レロッ！
あっ
ビッ
パロッ！
あっ
ビッ
ジュルッ
ジュルルッ
んあぁぁぁッ!!

はあっ…
あッ…

ふうっ…
んうッッ…！

おッ…♡
んおおぉッ!!

もう・・どこからどこまでが自分かわからない…
あっ
んあッ
んッ…
おぉッ♡
全身がオチンチンになっちゃったみたいッ…!!

はぁ…
はあっ…
!?…ッ
んうっ…
んんッ！
ふうッ
もう…ぜんぶ
どうでもいいッ！
はっ
あッ…
あぁ…！
ずっと…
ずっとここで
こうしてたい…！

あっ
あッ…
ジュパッ!!
ああッ!!
ジュルッ!!
いっ
レロッ…
レロッ!
いッ…
ぐうッ…!
ギュッ…
ドピュッ
ビュッ…
ドピュッ!
ビュルルルッ…
ビュッ…
ブッ…
ビクッ!
あッ…
ギュッ…
ドピュッ
ビュッ…
ドピュッ!
ビュルルルッ…
ビュッ…
ブッ…
ビクッ!
ドピュッ
ビュッ…
ドピュッ!
ビュルルルッ…
ビュッ…
ブッ…
ビクッ!
んガガガッ!

はぁっ…
はぁっ…
は…母…さま…
ビクッ!!
いかがですか!?
その中の居心地は?
その生物は接触した相手の潜在的な欲望に反応するよう作られています。
…現世では得難い体験をされたのではありませんか?
見たところ、あなたとの相性も大変よろしいようで誠に結構です…
ピッ
ピュ…
ブピ…
ですが時間です
そこから出て頂きます。
ここから…
出る…?
私の愛しい…
ぼうや…

…いやだ
ギュッ…！
…え？
何です？
嫌だ…
ここから出たくない…
ずっとここにいたい！
では自分が
何をすべきか！
解っていますね!!
…言います
言いますっ！
ぜんぶしゃべりますッ!!
…だから
ここから
出さないでえぇぇッッツ!!!

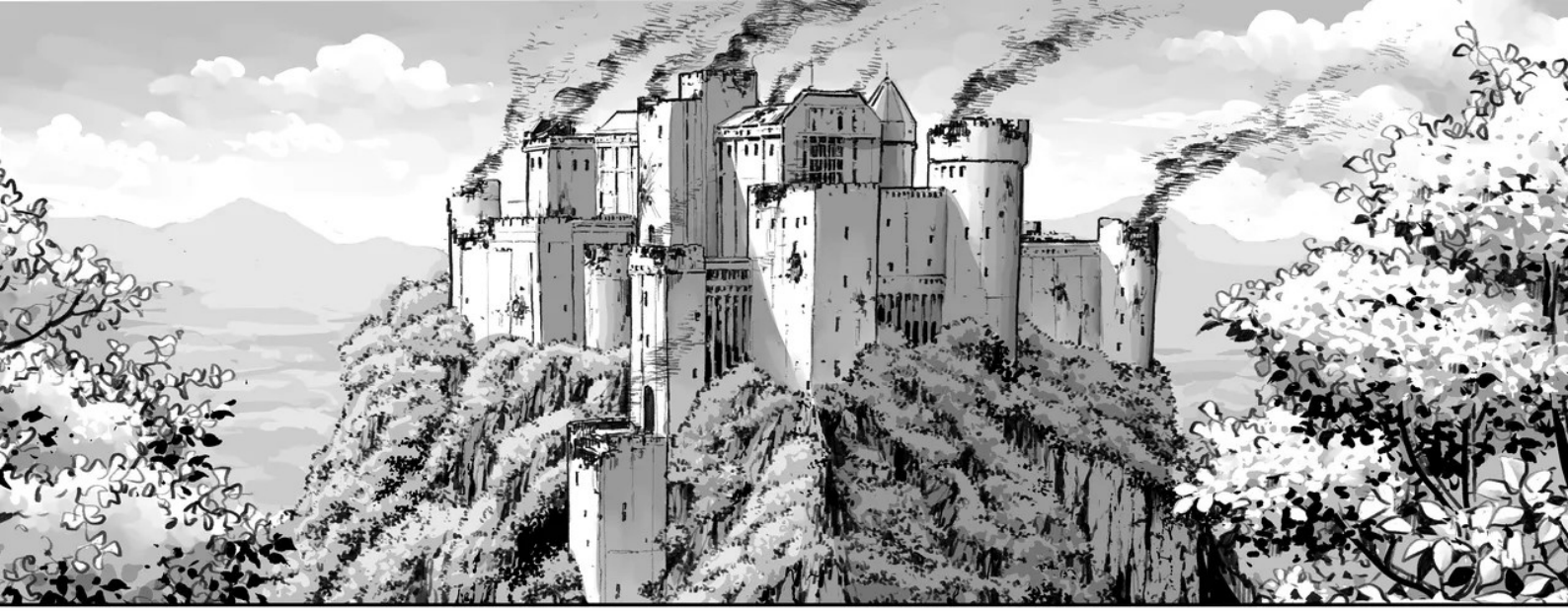
フフフ…
それではまず…
ズゥン…!
パラパラ…
!?
何事だ!
ズオォン…
敵襲です!
ズゥン…!
バカなっ…
こんなにも早く
この場所を…
まさか…ここを
突き止める為に
わざと…
斥候部隊を
捨て石に
したというのか!?
ハハ…
これで…
ここにいられる…
ドオォォン…!
パラパラ…
ハハハッ…
これから
ずっと…
母様といっしょに…
ズゥ…ン…!
ズズズ…

さあ…
いらっしゃい…
わたしの
かわいいぼうや…

ゴゴゴ…
ズズズ…
ガッ!
ガシッ!

ビタッ!
ズル…
ビタッ!

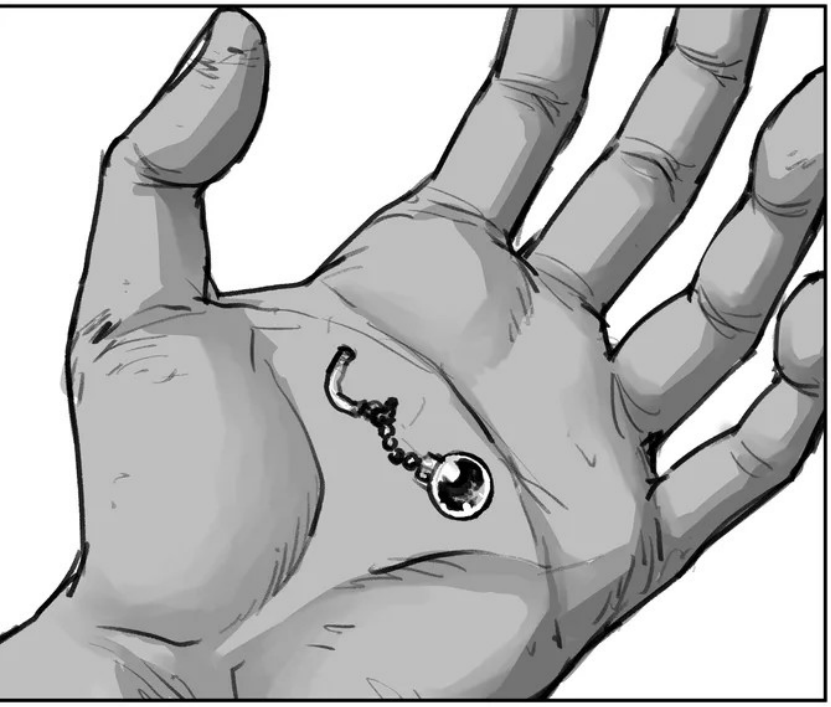
あぁ…
ビキッ…
メリッ…
メリ…
母様…



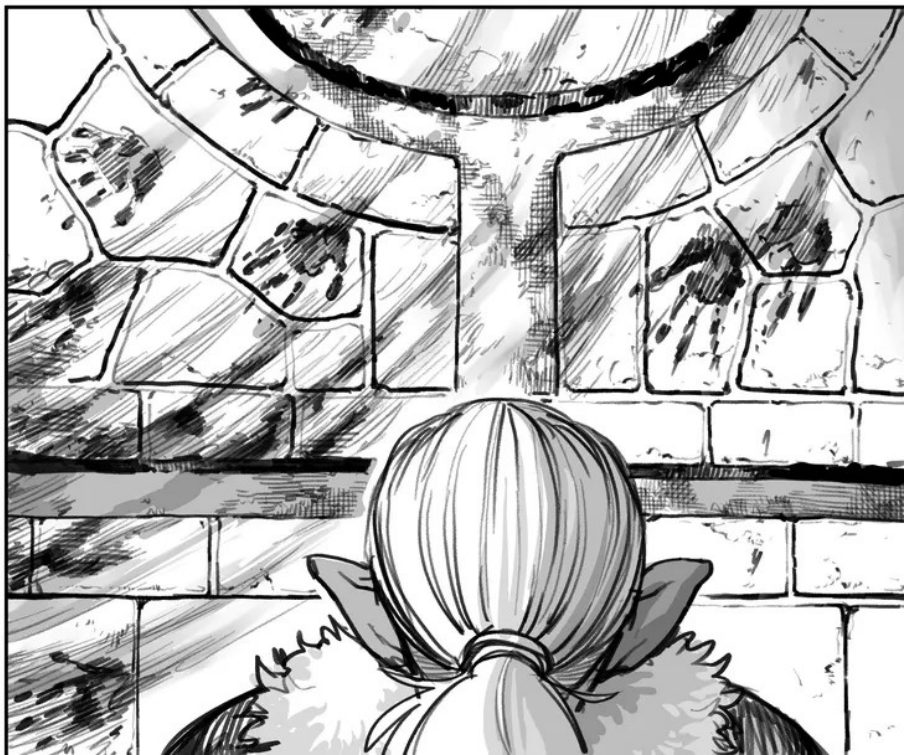
城内の制圧は
ほぼ完了しました…

それで…
尋問室は
見つかったのか？
はっ…
それが…

一つだけ
それが落ちていた
そうです…。



部隊が突入した時には
既にこの状態で…



END.